

科コード 14402	科名 バックデザイン科/シューズデザイン科	3年	単位	1
科目コード 21450	科目名 染色・プリント技法		授業期間	前期

担当教員(代表) : 太田 繁/杉山 美和	共同担当者 :
-----------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>バック・シューズ制作の新たな発想の手がかりとなるよう、何種類かの染色・加工法を抜粋し指導する。 その基本的な知識と技法を実習をとおして習得させる。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、 ＜テーマ</p> <p>1. 染色概論 (1) 染料の歴史、染料の種類について 染料と繊維の適正、染料と繊維の結合について 原毛染色 (1) 酸性染料による原毛染色 (フェルト加工に使用)</p> <p>2. フェルト加工 (2) 原毛による素材作り 羊毛の縮絨について</p> <p>3. フェルト加工Ⅱ (2) フェルト製作 仕上げについて</p> <p>4. 型紙捺染 (2) 捺染(プリント)について</p> <p>5. 型紙捺染Ⅱ (2) 型染め・顔料樹脂染料によるプリント 染料と顔料の違いについて</p> <p>6. スクリーンプリント (2) スクリーンプリントのプロセスについて 型染めとの違い・スクリーンプリントの種類について</p> <p>7. スクリーンプリントⅡ (1. 5) 各自のデザインをプリント 乾燥後の仕上げ、ベーキングについての必要性やクリーニングの注意点</p> <p>総論・まとめ (0. 5) 授業を通してのまとめ 学んだ知識、技法についての理解と認識の確認 質疑応答</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>① 学業評価 80% 授業姿勢 20%</p>
--

<p>主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料 DVD 型染め シルクスクリーンについて</p>

<p>記載者書名欄 太田 繁</p>

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科3年	単位	21 単位
科目コード	302220	科目名	バッグⅡ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	菊池 明子	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

2年次までの基礎知識を基に、さらに高度なデザイン力、パターンメイキング力、縫製テクニックの習得を目指し、企業で即戦力として活躍できるスキルを身につけることを目標とする。テーマごとに基本作品（全員同じ形）を制作し、新しい知識・技術の習得を行い、それを活かしながら応用、発展させた作品制作を行う。また、素材についても様々な方法で加工を施すなど、オリジナリティーの追及を目指していく。（基本作品4点、応用作品8～9点）
 現役職人の外部講師による専門知識・技術の習得も行う。（特別講義：ブリーフケース）

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

302220	バッグ デザイン II	通年6単位
302320	バッグ パターンメイキング II	通年6単位
302421	バッグ 製作実技 II A	前期4単位
302422	バッグ 製作実技 II B	後期5単位
1.	口金導入、横町外縫いバッグ基本型	14コマ(前期) 制作実技
2.	基礎縫い(丸手6種類)	6コマ(前期) 制作実技
3.	ポストミシン基礎縫い	3コマ(前期) 制作実技
4.	口金応用バッグ	26コマ(前期) デザイン・パターン・制作実技
5.	貼りのバッグ基本型	16コマ(前期) デザイン・制作実技
6.	口金ダレスバッグ	33コマ(前期) デザイン・パターン・制作実技
7.	コラボレーションバッグ制作 (グループワーク)	30コマ(前期) デザイン・パターン・制作実技
8.	立体	46コマ(後期) デザイン・パターン・制作実技
9.	卒業制作 4～5点	122コマ(後期) デザイン・パターン・制作実技

【評価方法】

S～C・F評価

デザイン・・・授業評価 80%、授業姿勢 20%

パターンメイキング・・・授業評価 80%、授業姿勢 20%

制作実技・・・授業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション工芸講座③ バッグ
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

様々な作りの「基本型」のバッグを制作後、「応用」として基本の技術を活かした自由なデザインのバッグを制作する。

学年末に三年間の集大成として、各自の作品を発表する卒業制作作品展示を行う。

担当教員:同校のファッション工芸科を卒業後、教員

記載者氏名 菊池 明子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GD3	科名	バッグデザイン科3年	単位	1単位
科目コード	302600	科目名	革小物制作実技	授業期間	(前期)

担当教員(代表) :	角森 智至	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

革小物（財布、カードケース等）の基礎知識と、専門的な縫製テクニックの習得を目標とする。
小物制作特有の革漉きや縫製準備、ミシン縫製など制作実習を通して学ぶ。また、就職先業界の製造現場で使用している裁断機（クリッカー）を使用した裁断実習を行い、機械の使用方法を身に付ける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1.	2つ折れ財布	10コマ	制作実技
2.	カードケース	4コマ	制作実技

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準： 学業評価 80% 、授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

革小物（財布、カードケース）の制作をとおして、基礎知識と専門的な縫製テクニックを学ぶ。

文化服装学院バッグデザイン科を卒業後、土屋鞆製造所に入社し、革製品の職人として約8年間勤務。在職中に革製品の開発生産に関する業務を幅広く経験。2017年1月より objects.io の製品開発責任者兼デザイナーとして企画デザイン、製品開発、生産品質管理に携わっている。“ものづくりの上に成り立つ個性”をデザインのコンセプトに、使い手の感性を刺激し、スタイルをアップデートする製品を作り出している。

記載者氏名 角森 智至

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科3年	単位	2単位
科目コード	500350	科目名	デザインディレクション	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	津村 耕佑	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインの発想と展開、作品の効果的な演出まで
一貫した流れのなかで各個人の価値観を浮き彫りにしてゆく授業

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 : 各自の嗜好から抽象的な形態を導き出す。
- 2 : その形態を連鎖させる為に相応しい素材を探求する。
- 3 : 素材と形態の連鎖方法など実験する中でアイテムをみいだしてゆく。
- 4 : アイテムの形状のイメージがうかびつつある時点で撮影し改めて形やアイテムを再考する。
- 5 : 実験を繰り返す中でたどり着いた作品を表現したいシチュエーションを設定し撮影する。
- 6 : 作品の展示方法を考えると同時に撮影した画像をPCで加工しビジュアル作品も制作する。
- 7 : 作品とビジュアルの展示を通して、空間演出効果を学ぶ。

【評価方法】

S~C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

津村耕佑 Art director・fashion designer FINAL HOME project 主催 武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授
文化服装学院ファッション工芸専門課程 非常勤講師 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 非常勤講師
1983年より三宅デザイン事務所に所属し三宅一生氏の下主にパリコレクションに関わる。
1992年ジャケット全体を収納スペースとして活用したウエア-FINAL HOME を考案する。1994年ファッションブランド KOSUKE TSUMURA 並びに FINAL HOME を(株)A-net からスタート。パリ、ロンドン、東京でコレクションを発表。
1959年 埼玉県生まれ 1982年 第52回装苑賞受賞 1992年 第21回現代日本美術展「準大賞受賞
1994年 第12回毎日ファッション大賞新人賞 2001年 織部賞受賞

記載者氏名 津村 耕佑

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	バッグデザイン科 3年	単位	1単位
科目コード	科目名	バッグデザイン画 II	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) : 河西 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

バッグデザインワークのうえで即戦力として使えるデザイン画の習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)一端の課題作成、及び創作デザイン等の企画構成力を目指して。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[ポートフォリオ作成] …5コマ

●マイコレクション

…個々のポートフォリオ(作品集)作成の重要性を実物一作品の構成を通して、デザインプロセスから実物製作の過程や物づくりの取組が見えるレイアウトであるよう指導

テーマ設定、コンセプト、ビジュアルイメージマップ、デザイン画、アイテムバリエーション等を実習(デザイン構成と表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化)

[創作デザイン及び企画構成] …9コマ

●コンテスト応募作品

●形の発想

…装飾図案的なデザインと形のリサーチ資料のイメージを組合せて、新たなデザインの構成を実習

●素材研究企画デザイン

…個々のテーマで研究素材をリサーチし、ビジュアル資料や情報等新規提案となる様なシューズデザイン
のアイデアを企画構成しまとめる

[時間内課題] …1コマ

●前期デザイン画試験

【評価方法】 [S~C・F評価]

評価基準：学業評価80% (課題作品提出物と前期試験)、授業姿勢20% (出欠状況, 授業態度を考慮)

主要教材図書 : 特になし

参考図書

その他資料 : その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

授業の特徴と担当教員紹介 [特徴]…個々のオリジナル作品集の効果的な構成習得。素材研究から新たなアイデア展開や活用できる企画構成のバッグデザイン力を目指す。 [担当教員]…学院のF・デザイン専攻科卒業後、専任講師として勤務。その後、ジュエリー会社にてデザイナーを経て、現在非常勤講師として勤務。

記載者氏名 河西 恵美子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科3年	単位	1単位
科目コード	504500	科目名	コンピュータワーク	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. Word の操作方法を習得し、ビジネス文書の作成力を身につける。
2. Excel の操作方法を習得し、関数や計算式を利用して効率よくデータを分析する力を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. Word の基本操作 : 3コマ
社内文書の作成
2. 表付き文書の作成 : 2コマ
3. Excel の基本操作・発注書・請求書の作成 : 4コマ
4. Excel の数式・関数について : 4コマ
売上表の作成と集計
5. グラフの作成について : 2コマ

【評価方法】

学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料 使用ソフト Microsoft Word2019/Excel2019

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらWord・Excelの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルプリントデザインを専門としており、消耗品・プリント料金の集計等の日常業務で身に付けた作業効率を高めるPCスキルを授業に活かしています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグ、シューズデザイン科 3年	単 位	2 単位
科目コード	63400	科目名	バッグ、シューズマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表) :	長井 恵子	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. 実際のマーチャンダイザーの業務内容を通して、マーチャンダイジング計画の重要性と理解を深める。
2. 各自でマップや計画書を作成し発表することで、実践力とプレゼンテーション力を養う。

【授業計画】

- I. マーチャンダイジング基本計画 講義 (6コマ)
- ① マーチャンダイジング計画の基礎・・・マーチャンダイジングの定義
 - ② マーチャンダイザーの役割・・・マーチャンダイザーの業務、市場の基礎知識
- II. 情報収集と分析 講義 8 (コマ)
- ① 情報収集活動・・・市場での情報収集活動、ファッション市場情報源 (情報収集の重要性)
 - ② 情報の分析・・・市場情報源、情報の分類 (分析結果の活用)
- III. 情報収集活動の実践 マーケットリサーチ、ブランド立案書の作成及びプレゼンテーション (4コマ)
- ① 都心型FB、郊外型SCをリサーチ・・・リサーチ報告書作成
 - ② 結果分析・・・リサーチ結果に基づき各ターゲット客層のニーズ分析報告書を作成
 - ③ プレゼンテーション・・・各自発表後、全体でディスカッション
- IV. バッグマーチャンダイジング計画 講義 (6コマ)
- ① 商品計画・・・ブランド計画、シーズン計画、商品構成計画 (店頭、市場とリンクした計画)
 - ② 計数計画及び店頭計画・・・生産計画、計数管理、販売・VMD計画 (クリエイションの数値化)
- V. マーチャンダイジング活動の実践
- ・商品企画及び販売計画の作成及びプレゼンテーション (2コマ)
 - ① 商品企画及び販売計画・・・テーマに基づきデザイン考案及び販売計画案を作成
 - ② プレゼンテーション及びディスカッション・・・各自発表し意見交換
 - ・MD計画の作成及びプレゼンテーション (4コマ)
 - ① 情報収集及び分析・・・コレクションにおけるトレンド分析
 - ② マーチャンダイジング計画の作成・・・分析結果からシーズンイメージマップ及びMD計画書を作成
 - ③ プレゼンテーション・・・各自で発表後、全体でディスカッション

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価：70%、授業姿勢：30%

すべての課題について評価し、特にV.の「商品企画及び販売計画」「マーチャンダイジング計画」を重視。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

現在ファッション雑貨の現場で仕事をしているため、今の状況や旬な情報を踏まえた内容で進行。

大手アパレルにて雑貨MDを長年経験後独立しフリーランスに。現在は大手アパレル及び商社等の企画支援を行っている。

記載者氏名 長井 恵子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	帽子・JD科/バッグデザイン科/シューズデザイン科 3年	単位	1 単位
科目コード	科目名	ビジュアルプレゼンテーション	授業期間	前期

担当教員(代表) :

柴田 優香

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・VPの社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う。
- ・「作品」を「商品」として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。
- ・ピンワークのテクニックを学びVPや作品作りに活かす。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
・授業内容説明・実習室説明	講義/実習	4			
・ピンワーク(アンピエ・ダブルピエ・ドレーフ)	実習				
(ギャザリング・タッキング)	実習				
↓ 5つの手法を使用して演習→ ★評価 ※次回VP個人演習課題内容説明	実習	↓			
・VP個人演習(参考画像・サンプル説明)	講義/演習	4			
プランニング	演習				
演習 ★評価	演習				
↓	演習	↓			
・VPグループ演習(課題説明・参考画像・サンプル説明)	講義/グループ活動	6			
プランニング(コンセプト・イメージetc)	グループ活動				
演出小道具準備	グループ活動				
演出小道具準備	グループ活動				
グループ毎に演習 ★評価	グループ活動				
↓	グループ活動	↓			

【評価方法】

- ① 完成作品 ② コンセプトシート ③ 授業態度 ④ 出欠状況 総合的に評価

授業の特徴と担当教員紹介

視覚から取り入れる情報の重要性を理解し、ビジュアルプレゼンテーションの社会での役割・効果を学びます。ビジュアルマーチャンダイザー/デコレーターとして活動しています。

主要教材図書

参考図書 inspiration、ディスプレイ年間 etc

その他資料 オリジナルPowerPoint、参考画像

記載者氏名 柴田 優香

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 工芸科2年・3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 英会話	授業期間	通年

担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 : ケイリーン・イズミ
------------------	-------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増すこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級（中位）から中級まで。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Placement test	演習	1	Unit 19: Comparatives	演習	1
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 20: Fashion items	演習	1
Unit 8: The present tense (time and frequency)	演習	1	Unit 21: Colors and patterns	演習	1
Unit 9: The past tense (Spring vacation)	演習	1	Unit 22: Laundry care	演習	1
Unit 10: The perfect tense	演習	1	Unit 23/ Unit 26: Body and face parts	演習	1
Unit 11: The future tense (will vs. be going to)	演習	1	Unit 24: Presentation 1 (Outfit of the Day)	演習	1
Unit 12: "wh" questions	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 13: Likes and dislikes (gerunds)	演習	1	Unit 27: Structure of presentation (Sequence connectors)	演習	1
Unit 14: The modal verbs	演習	1	Unit 28 & 29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 16: Conjunctions	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 15: Prepositions	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 17: Asking for and giving directions	演習	1	Unit 33: Fashion show	演習	1
Review of the spring semester	演習	1	Oral presentation	演習	1

【評価方法】 平常点（出席、クラス参加）30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S～C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介
 プレイメントテストを行い、レベル別編成とする。テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科3年	単位	1単位
科目コード	945200	科目名	インターンシップb (自由選択)	授業期間	(通年 自由選択)

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

就業体験を通して、実践の現場から業界の仕事内容を学び、働くことの厳しさや社会人としてのマナーを身につける。また、希望する職種と合致しているのかを見極め、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○企業での研修

企画・デザイン、製造などの就業体験

長期休暇中(春休み、夏休み)

1週間程度

【評価方法】

履修認定(P表示)

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

企業での就業体験

記載者氏名 菊池 明子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科 3年	単位	4単位
科目コード	970000	科目名	卒業研究・創作	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 菊池 明子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

卒業制作発表展示に向けて表現力、創作力を高め、また企画、運営する能力を養うことを目標とする。
3年間の集大成として、各自が研究テーマを設定し、4~5点のシリーズで作品をデザインし創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学び、帽子・ジュエリーデザイン科、シューズデザイン科と共に展示発表する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○各個人がテーマを設定し、デザイン・制作

1人 : 4~5点

○素材、技法の開発及び研究

○機能、構造の研究

○展示会の企画・運営

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価 80%、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

各自が研究テーマのもと、4~5点の作品をデザイン・制作し卒業制作展示会で発表する。

担当教員 : 同校ファッション工芸科を卒業後、教員

記載者氏名 菊池 明子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14503	科名	バッグデザイン科 3年	単位	単位 2
科目コード	980030	科目名	特別講義 III	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	菊池 明子	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般のトレンド情報やプロダクトデザイン、またグッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事、特殊材料やその活用方法などを学び、多方面にわたる講師による講義や実習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 卒業1年前から意識しておきたいこと	講師 : 山地 保 国際ファッション推進機構 機構長	・講義	1コマ
2. 金属アレルギーについて	講師 : 鈴木 久子 金属アレルギー協会 代表理事	・講義	1コマ
3.トレンド情報	講師 : 岡村 嘉子 (株)アイコニックシステ	・講義	1コマ
4. 流行色解説	講師 : 流行色協会 講師 一般社団法人 日本流行色協会	・講義	2コマ
5. クラウドファンディングについて	講師 : 市川 和海 伊藤忠商事株式会社	・講義	1コマ
6. バッグデザイナーの仕事	講師 : 斎藤 美子	・講義、実習	2コマ
7. 皮革のメンテナンス	講師 : 静 孝一郎 (株)R&D 取締役社長	・講義	1コマ
8. 毛皮について	講師 : 梨本 チエコ	・講義、ビデオ	2コマ
9. 繊維・化成品について	講師 : トップラン株式会社	・講義	1コマ
10. 靴職人から教わる縫製技術と製品知識	講師 : 玉那覇 孝二 コニー (株)	・講義、実習	13コマ
11. ガッコーでは教えない仕事のこと	講師 : 菊池 純一	・講義	1コマ
12. 撮影テクニック	講師 : 尾島 敦	・実習	3コマ

【評価方法】

履修認定 (P表示)

主要教材図書	なし
--------	----

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション全般の多方面にわたる講師による講義や演習

記載者氏名 菊池 明子

2021年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	バッグデザイン科3年	単位	1単位
科目コード	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表) :	共同担当者 :
菊池 明子	宮原 勝一 白方 茜

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。

※バッグデザイン科2年・シューズデザイン科2、3年生と合同

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○企業、工場見学

- ・豊岡鞆企業 : (株)由利
- ・ファスナー・金具企業 : 浮田産業(株)
- ・兵庫県姫路市 タンナー : (株)山陽
- ・シューズメーカー : (株)ニチマン
- ・博物館 : 松永はきもの資料館
- ・ビーズ工場 : (株)ミュキビーズ

○レポート提出

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

革や副資材を材料とするアイテムの専門科目を扱う企業・工場を見学し見聞を広めることが出来る様行程を組んでいる。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 菊池 明子